

					(別紙3)
	<div>公表</div> <div>事業所における自己評価総括表</div>				
○事業所名		放課後等デイサービス ウィズ・ユー飾磨			
○保護者評価実施期間		令和7年 1月 6日	～	令和7年 1月 20日	
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間		令和7年 1月 21日	～	令和7年 1月 31日	
○従業者評価有効回答数		(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年 2月 1日			
○分析結果					
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広く、のびのびと個別活動、集団活動が出来る		・室内の物の配置や活動場所のスペースの区切り、子どもたちが利用しやすい環境構成を工夫している		・常に見直しを行い、職員で意見を出し合い、楽しく安心して過ごすことが出来るように工夫していく。
2	保護者(家庭)への支援体制		・連絡帳、LINE等で利用時の様子を写真で報告し、成長を共有している。 ・子育ての悩みや、きょうだいの悩みなど家庭での困り事、今後の進路など、家族が抱く悩みや不安に寄り添い支援している。		・引き続き、家族の想いに寄り添い、支援を継続していく。
3	季節ごとのプログラムや活動内容		・楽しいイベントも大切だが、危険に関する様々な訓練、自分の命を守る大切さ、ルールを分かりやすく伝える取り組みをしている。		・活動内容がマンネリ化しないよう見直しを行い、職員間で意見を出し合い、検討していく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の訓練や備えなど、保護者への周知や理解		・PDFで確認してもらおう変更時お知らせを玄関に掲示を行っているが直接お伝えする機会が少ない。		・避難訓練の様子や日々の訓練、安全対策など今以上に情報共有していく
2	他事業所との連携		・相談員や学校との情報共有は行っているが、事業所と直接情報共有することは困難である。		・直接情報共有が出来る時間調整が必要。
3	地域交流が少ない		・学校終了後の支援では、交流する機会が少ない。		・地域の公民館や参加できるイベントの情報収集に努める。

									(別紙 4)
		<div>公表</div> 保護者等からの事業所評価の集計結果							
事業所名	放課後等デイサービス ウィズ・ユー飾磨				公表日	年月日 2025年2月13日			
					利用児童数	15名		回収数	15枚
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				・走り回れるくらいのスペースは十分あるので窮屈感はないです。 ・広々としたスペースで、みなさん楽しそうにしています。	・のびのびとした室内で活動できるように環境構成に努めていきたいと思ひます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15					・十分な職員の配置をしています。 安全面に配慮しながら日々活動しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15				・子供目線での視覚支援に配慮した空間作りとても工夫されていると思います。 勉強する場所、読書する場所、体を動かす場所、エリア別にキレイにまとまっていて親としても気持ちの良い空間だと思います。 ・入口から広く見渡せるようになっており、開放感のある生活空間になっていると思います。段差等も少なく配慮されています。 ・休むスペースと学習するスペースが分かれていて分かりやすいと思います。	・ご意見ありがとうございます。 室内の構造上、段差もありますが、室内の表示で知らせたり安全面に対する声掛けをしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・子供目線での視覚支援に配慮した空間作りとても工夫されていると思います。 勉強する場所、読書する場所、体を動かす場所、エリア別にキレイにまとまっていて親としても気持ちの良い空間だと思います。 ・すっきり片付けられていて、活動しやすい空間作りがされています。	・これからも継続していきます。	
適切な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・本人の様子を見ながら、色々な体験をさせていただいています。	・子どもたちの特性や苦手とすること、保護者のニーズに合った支援プログラムを考えていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				・いつも丁寧に支援していただいています。	・ありがとうございます。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・ニーズや相談した事柄についてもすぐに反映して頂け、悩みや課題についても一緒に解決や達成に向けて動いてもらえるので心強いです。 ・毎回、丁寧な計画が作成されており、学校・支援事業所との共有までしてくれています。 ・いつも丁寧に支援していただいています。	・ありがとうございます。 引き続き各関係機関と連携を取り、努めていきたいと思ひます。 いつもご協力いただき、ありがとうございます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思ひますか。	15				・いつも丁寧に支援していただいています。	・ありがとうございます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思ひますか。	15				・いつも丁寧に支援していただいています。	・ありがとうございます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひますか。	15				・季節に合った活動等の取り入れがあり家庭で出来ないことも経験できている。 ・本人の成長や困り感に合わせて工夫していただけで助かります。	・これから継続していきます。 ・活動がマンネリ化しないよう見直しを行っていきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	2	4	・特に交流は望まないのでは問題ないです。 ・特に必要とも感じていないです。地域交流（スズキの車屋さん）があるので十分と考えています。 ・なくてもOKだと思っています。 ・トライやるウィーク等、学校外のお子さんとの関わりの時間もあります。	・事業所として他の交流を多くは望んでいません。 トライやる・ウィークや校区内の見守り活動などの関わりもあり、無理のない範囲で行っています。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・変更等（改正）あれば、都度説明してもらっています。 ・なくてもOKだと思っています。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1			・なくてもOKだと思っています。		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	3	・学校等での研修会で十分と感じるので問題ないです。 ・保護者として特段の必要性を感じていない。個々に相談できれば研修会等も不要等と考える。 ・なくてもOKだと思っています。	・ご意見ありがとうございます。 事業所として特に必要とは思っていません。 保護者からの必要性や要望があれば検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15			・利用時の様子もしっかり細かく伝えてもらえるので子どもの状態を把握しやすいので助かっています。 ・とても分かりやすいです。 ・連絡帳やLINE、送迎時のお話で状況を教えて頂いています。	・ありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1		・とても助かっています。 ・連絡帳やLINE、送迎時のお話で状況を教えて頂いています。	・ありがとうございます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15			・いつも親身に関わって頂いて本人も安心して通うことが出来ていて、大変ありがたく思っております。	・ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	5	3	・特に望まないのでは問題ないです。 ・保護者同士で交流することが必ずしも必要とは限らない。必要と感じた場面でも都度考えても良いと思う。 ・機会があっても参加は悩むのでもなくていいと思います。 ・個人的に父母の交流は希望していないので、特に要望等はありません。	・ご意見ありがとうございます。 保護者からの必要性や要望があれば検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			・いつも丁寧な聞き取りをして頂けます。 保護者側の考えを否定することなく共感しながら寄り添ってくれています。 ・いつも親身にサポートして頂いています。	・ありがとうございます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			・送迎時や連絡帳で様子を教えて頂けて助かります。	・これからも継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15			・連絡事項や子どもの利用時の様子など写真付きで伝えてくれるのでとても安心します。これからも続けてしてもらいたいことです。 ・LINEにてお知らせを頂いています。	・今後も継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				・個人情報に記載されている書類等は、全て鍵付きのロッカーで保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			・インフル等でお休みを頂いた際、"いつまで休むか"等、丁寧に教えて頂いています。	・各マニュアル、定期的見直しや訓練を行っています。 変更があれば保護者に伝え周知に努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			・避難所へ歩いて行く等、もしもの時のために事前に備えて頂いて安心しています。	・今後も継続していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			・怪我を発見した際、すぐにご連絡頂いています。	・事業所内で事故等発生はありませんが、怪我の大小に関わらず、視診で気になることを伝え、事故や怪我が発生した際には迅速に保護者に連絡します。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15			・ウィズ・ユーでしか見せない姿もあるので安心して通わせてもらっています。 ・いつも楽しそうに通っています。	・ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15			・行くのが当たり前だと思っています。 居場所を作って頂いて感謝しかありません。 ・通所に利用しているカバンを持って、"行きたい"とアピールするほど楽しみにしています。	・ありがとうございます。 今後も継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15			・大変満足しています。 ・大変満足しています。いつもありがとうございます。	・支援内容に満足せず、今後更なる向上に努めていきます。

						(別紙5)
		公表 事業所における自己評価結果				
事業所名	放課後等デイサービス ウィズ・ユー・飾磨			公表日	2025年2月13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		広い活動スペースを確保しています。活動に応じたスペースの工夫もしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		職員の規定人数以上配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		一部段差はありますが、安全に配慮した表示をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		事業所で目標を設定し、支援の向上に努めています。	目標設定はしっかりとしているが、それ以上に振り返りをし、職員で共有していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		実施しています。アンケート結果を受け、必要に応じて検討し、今後の支援に向けて改善しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第三者評価は受けていません。	第三者評価は行っていないが、今後必要があれば検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修の参加、内部研修を定期的 to 実施し、資質の向上に努めています。	支援プログラムの作成を行っています。定期的に見直しを行っています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントの更新を行なっています。個々の状況を把握し、個別の対応や集団活動に繋がる支援に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			これからも職員で常に共有し、しっかりと周知を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		必要に応じて見直しを行なっています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員全員で楽しく、色々な体験ができるように考えています。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動がマンネリ化しないように定期的に見直しを行なっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		行なっています。 個々の特性や状況を見ながら計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		情報を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援内容や工夫した点、次回利用時に改善や継続したいことなど共有し、支援に繋がっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		正しく記録し、支援の検証・改善・振り返りに繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		年2回のモニタリングを行なっています。 その他、必要時にも行います。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		ガイドラインの総則、基本活動を参考にして支援を行なっています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		行なっています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時、先生との情報共有を行なっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて連携を行います。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要に応じて移行先への情報共有に努めます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		専門機関に助言をいただく場や研修を受講しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		同年齢では無いが、地域の中学生との交流があります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6	必要性があれば参加を検討します。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳、LINEなどで日々の状況を伝え、共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	現在、実施していません。 特に必要性を感じていません。 保護者から要望があれば検討します。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		オフィシャルLINEは365日対応し、保護者の相談等も迅速に対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	アンケートで必要性を感じていないという回答が多く、事業所としても同意見です。必要があれば検討します。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		対応体制等伝えています。苦情があった際には迅速かつ適切に対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月の活動予定、支援プログラムを発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		はい。 就業規則等に定めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		行なっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	機会があれば行なっていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		はい。 変更等があればPDFを送り、確認して頂いています。 玄関に設置し、いつでも閲覧できるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		おやつ時のアレルギー有無の確認も必ず行なっています。 指示書に基づき対応します。	安全面を第一に考え、アレルギーの有無についても保護者と共有し、変更がある場合はしっかりと職員共有し、努めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットの事例を共有し、内容共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待チェックリストも行い、意識の向上に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		行なっています。 身体拘束等のマニュアルを把握し、必要に応じて個別支援計画に記載します。	